

2 0 1 6 年 度

入 学 試 験 問 題

社 会

4 0 分

1. 受験番号・氏名を解答用紙に書くこと。
2. 受験番号は算用数字で書くこと。(例:123)
3. 答はすべて解答用紙に記入すること。
4. 配付されたもの以外の下じき・用紙は使わないこと。
5. 用紙を立てて見ないこと。
6. 質問(印刷不明のところだけ)のある場合、鉛筆などを落とした場合、
トイレに行きたくなった場合、気持ちの悪くなった場合は、だまって
手をあげること。

昔、木は万物をつくっている5つの元素（木火土金水）の1つと考えられていました。いまでも、いろいろなところに使われています。

ここでは、木について調べてみることにします。

I. 日本では、昔から木を使って建物をつくってきました。文章を読んで間に答えなさい。

①縄文時代につくられていた住居には、すでに木が使われていました。弥生時代には、住居のほかに、物見やぐらや②倉庫を木でつくっていました。7世紀になると、③現存する最古の木造建築が建てられました。8世紀には、大和国とその周辺では木が切り尽くされたといわれるほど、④奈良で木が使われました。

武士の館も木造でした。室町時代に完成した⑤書院造は、武士の住宅に用いられただけでなく、現在の和室にも受けつがれています。

⑥戦国時代から江戸時代のはじめにかけて、大名が町をつくるために木がたくさん使われました。

日本人は風呂好きだといえます。江戸時代には、江戸の町で浴室がある家は少なかったので、多くの町人は⑦銭湯を利用しました。浴室がある家でも浴槽は木でできていました。浴室付きの住まいが普及するのは、第2次世界大戦後のことです。いまでは、浴槽は木だけでなくプラスチックや金属でつくられるようになっています。

明治時代になると、東京には石や（A）でつくられた洋風の建物があらわれて人びとの目をひきました。現在では、大きな建物はコンクリートづくりが多くなっています。

問1 下線部①について（1）と（2）に答えなさい。

（1）下線部①の住居のあとをみると、数人が横になれるような穴の内側に、何か所か穴がほられています。内側の穴は、何を立てるためのものですか。

（2）下線部①の時代には、ブナ、クリ、ナラ、シイなどの実は、人びとの重要な食料でした。これらの実のうち生で食べられないものには、アクをぬくためにどのようなことをしていましたか。

問2 下線部②には、食料を貯蔵するためにどのような工夫がされていましたか。説明しなさい。

問3 下線部③がある寺院を答えなさい。

問4 下線部④では、たくさんの木を使って何が建てられましたか。当時の政治や文化を考えて答えなさい。

問5 下線部⑤を用いた建物のうち、足利義政が京都の東山に建てたものを答えなさい。

問6 下線部⑥について（1）と（2）に答えなさい。

（1）下線部⑥の例として、織田信長や徳川家康が全国統一の拠点とした町をそれぞれあげなさい。

（2）信長や家康が拠点とした町には共通した特徴があります。その特徴を考えて、それらの町を建設するために木がたくさん使われた理由を説明しなさい。

問7 下線部⑦を利用した町人の多くは何とよばれる住宅に暮らしていましたか。

問8 （A）にあてはまるものを答えなさい。

II. 木は、産業や生活に必要な施設をつくるのにも使われてきました。文章を読んで間に答えなさい。

弥生時代の人びとは、稲作のために木であぜをつくって水田を区切っていました。①農具も木製のものを使っていました。

木はかんがいのためにも使われました。室町時代には、木でつくられた（B）の力を使って田に水をひいていました。

江戸時代には、飲み水を確保するために川の上流から町へ水をひくことができました。水をひくための管は、木でつくられました。

川にかかる橋も、鉄橋ができるまでは木造の橋でした。奈良時代には行基という僧が橋をつくっています。橋は川を渡るのに便利ですが、江戸時代には、②幕府は大きな川にわざと橋をかけなかったことがあります。

明治時代になると、政府は③電信のために電信線を各地にはりめぐらせましたが、電信柱は木でつくられていました。また、④鉄道の線路をしくために、木をたくさん使いました。

問1 下線部①にはどのようなものがありますか。2つ答えなさい。

問2 下線部②のことがあったために、江戸時代の人びとはどのようにして大きな川を渡りましたか。

問3 下線部③は、最初にどことこの間で開通しましたか。

問4 下線部④について、レールの下にしいた木の何を何といいますか。

問5 （B）にあてはまるものを答えなさい。

Ⅲ. 木は、乗り物をつくるのにも使われてきました。文章を読んで間に答えなさい。

人やものを運ぶものも木で作られていました。縄文時代には、人びとは①丸木船で海へ出ました。船による海外との交流もありました。古墳時代から平安時代まで、日本が中 国や朝 鮮との交流を通してすすんだ文化を取り入れることができたのも、船を使えたからです。

江戸時代のはじめには、船をつくる技術がすすみました。②沿岸航路が整備されて、大阪には各地から船で年貢米などがたくさん運びこまれました。

明治時代になると、政府は造船業や海運業を奨 励しました。第 2 次世界大戦後には、日本は造船量で世界 1 位になりました。現在では、船をつくる材料は、木のほかに鉄やプラスチックが多くなっています。

陸上では、木で作った車が使われました。③平城京や平安京では、貴族や天皇は（ C ）という車に乗っていました。

鎌倉時代の武士は、馬に乗りました。室町時代には、馬や車を使って荷物を運ぶことを仕事にする人がいました。

江戸時代には車輪を使わずに、④人が担いで運ぶ乗り物がありました。これにも木が使われていました。大名のものは豪華で、外から中が見えないようになっていましたが、庶民が利用したものではありませんでした。

明治時代以後、日本では人や動物の力ではなく、機械によって動く乗り物が使われるようになりました。いま、日本で人を運ぶのによく使われている乗り物は自動車です。自動車には、鉄がたくさん使われています。

問 1 下線部①を、縄文時代の人びとはどのようにつくりましたか。使った道具をあげて説明しなさい。

問 2 下線部②を使って北海道の産物を大阪へ運んだり、大阪から米などを北海道に運んだりした船を何とといいますか。

問 3 下線部③があったところから大量に発掘され、手紙や荷札に木が使われたことを示すものを何とといいますか。

問 4 下線部④は何ですか。

問 5 （ C ）にあてはまる乗り物を答えなさい。

Ⅳ. 木は、機械や道具をつくるのにも使われてきました。文章を読んで間に答えなさい。

古墳時代に①はた織りの技術が渡来人によって伝えられました。昔は木の道具を使っていましたが、のちに鉄製の機械が使われるようになりました。

お椀やお盆などの工芸品にも木が使われています。それらの工芸品には②つやを出したり、腐るのを防いだりするために、木からとった樹液を塗ることがあります。この技術は縄文時代からありましたが、江戸時代には各地の特産品に使われていました。

筆記具にも木が使われています。③第 1 次世界大戦がはじまってから第 2 次世界大戦が終わるまでの間に、小学校では、子どもたちが鉛筆を使うようになりました。

問 1 下線部①は何をすることですか。説明しなさい。

問 2 下線部②の樹液を何といいますか。

問 3 下線部③の期間にあたることとして正しいものを、ア～オから 1 つ選びなさい。

- ア 条約改正交渉の結果、関税自主権を回復する条約を結んだ。
- イ 東京でオリンピックが開かれた。
- ウ 20 才以上の国民が国会議員の選挙権をもつようになった。
- エ 郵便制度がはじまり、木製の郵便ポストが設置された。
- オ ラジオ放送がはじまった。

V. 表 1 は、都道府県のうち、2013 年の木材生産量で上位 10 位までを示したものです。

上位 10 位までの道や県で全国の 6 割が生産されています。

上位の道や県に共通する特色を考えて表 1 の（ D ）に入る県を、ア～オから 1 つ選びなさい。

- ア 愛知 イ 岩手 ウ 沖縄
- エ 島根 オ 和歌山

表 1
都道府県別木材生産量
万 m³

北海道	335
宮 崎	171
（ D ）	137
秋 田	111
熊 本	95
大 分	93
青 森	78
鹿児島	70
福 島	70
愛 媛	50

林野庁『木材需 給報告書』をもとに作成

Ⅵ. 図や表をみて問に答えなさい。

図1, 図2および表2に使われている言葉の意味は, 次の通りです。

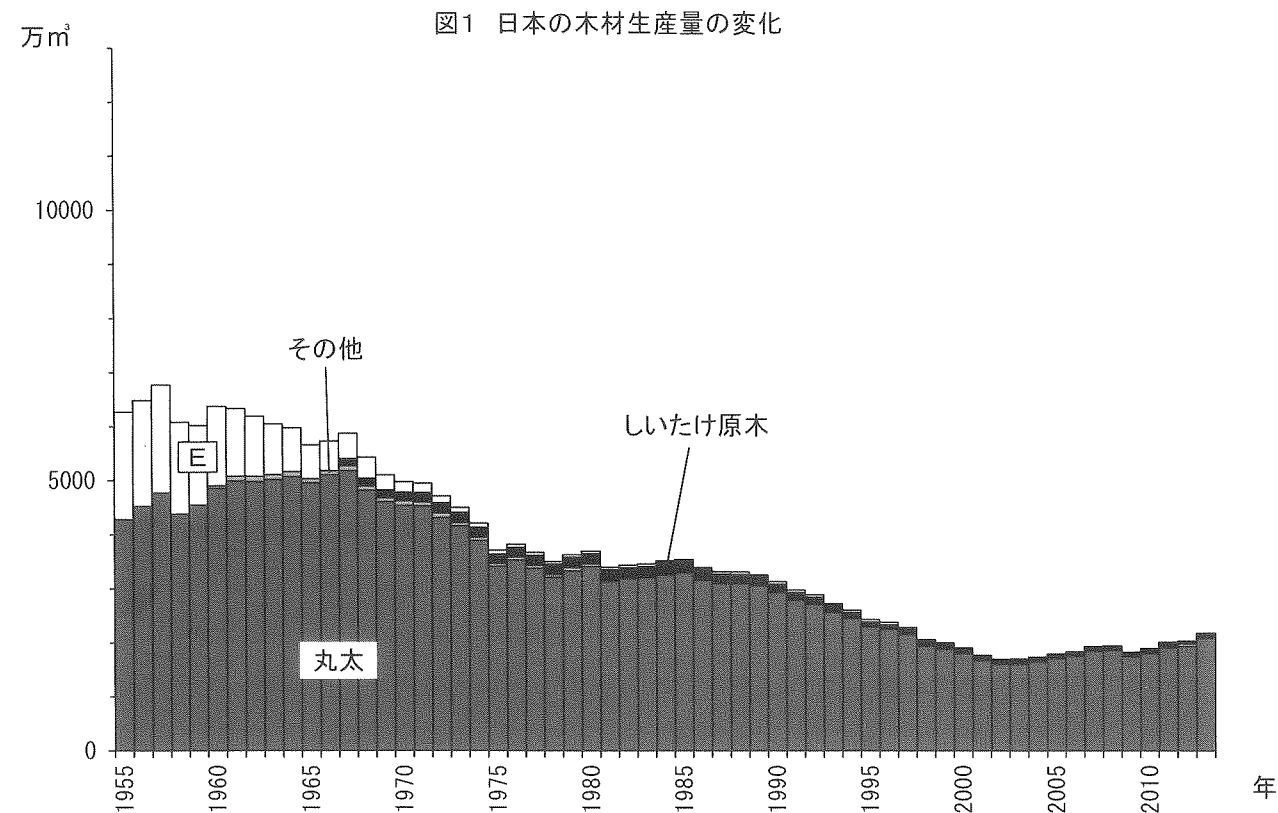
「丸太」は, 板や角材に加工して住宅や家具に使われたり, 細かくくだいて「チップ」にしたりします。

「チップ」をほぐしたものが「パルプ」です。

「しいたけ原木」は, しいたけを栽培するために使われる木材です。

「製材」は, 板や角材をつくることです。

「合板」は, 木材をうすくむいた板をはりあわせてつくる板です。



林野庁『木材需給表』をもとに作成

問1 図1は, 日本の木材生産量の変化を示したものです。図1をみて(1)と(2)に答えなさい。

(1) Eは, 1955年から1970年ごろにかけて減りました。Eは何をつくるために使われた木材の量を表していますか。

(2) 日本の木材生産量がここ50年ほどの間, グラフで見られるような変化をしている理由として正しいものを, ア～オから2つ選びなさい。

ア 木を伐採しつづけたため, 森林の面積が減ってきた。

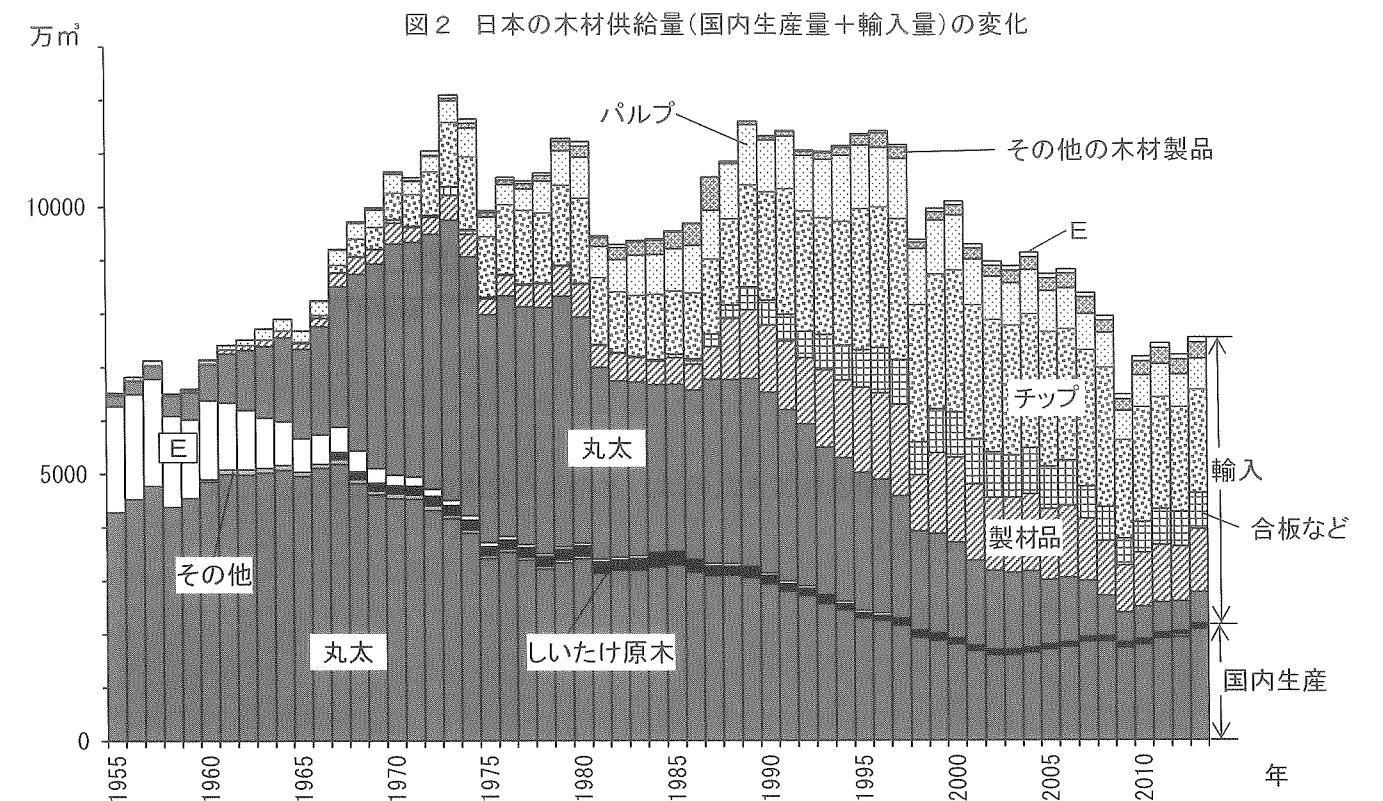
イ 森林を保護するため, 木の伐採への規制がきびしくなってきた。

ウ 林業は仕事がきびしいわりに生活が苦しく, 後継者が減ってきた。

エ 日本の木材は高くなり, 輸入品と競争するのがむずかしくなってきた。

オ 日本の木材は品質が悪くなり, 輸入品よりも売れなくなってきた。

問2 日本国内に供給される木材の量は, 生産量に輸入量を加えた供給量になります。図2は図1に輸入量を加えて日本の木材供給量の変化を示したものです。(1)と(2)に答えなさい。



林野庁『木材需給表』をもとに作成

(1) 図2をみると, 木材供給量がほぼ2倍にまで増えた期間があります。その期間のことについてまちがっているものを, ア～オから2つ選びなさい。

ア 国民総生産が, アメリカについて世界2位になった。

イ 震災による原子力発電所の事故で, しいたけ原木が大量に被災した。

ウ 政府が, 自分の土地をもたない農民に農地を安い値段で分けあたえた。

エ テレビや洗濯機, 冷蔵庫などの電化製品が普及していった。

オ 都市に人口が集中し, 団地がさかんに建てられた。

(2) 2013年については、木材の使われ方の内訳を調べて表2にまとめました。解答用紙の図にしてみると使われ方の特徴がわかります。輸入品の部分にならって図を完成させなさい。

表2 木材の使われ方の内訳 (2013年) 万m³

輸入品 5372										
木材製品					丸太					E
製材品	パルプ・チップ	合板など	その他の木材製品	計	製材用	パルプ・チップ用	合板用	その他用	計	計
1184	2517	673	304	4678	470	1	124	2	597	97

国内生産品 2175									
丸太					丸太以外				
製材用	パルプ・チップ用	合板用	その他用	計	E	しいたけ原木	その他	計	
1206	488	326	63	2083	24	39	29	92	

林野庁『木材需給表』をもとに作成

VII. 日本で古くから木材がよく利用されてきたのは、どのような理由からですか。これまでの問題から木の特徴を考えて説明しなさい。

I. 問1 (1) (2)

問2

問3 問4

※

問5

問6 (1)

(2)

問7 問8

※

II. 問1

問2

問3

問4 問5

※

III. 問1

問2 問3

問4 問5

※

IV. 問1

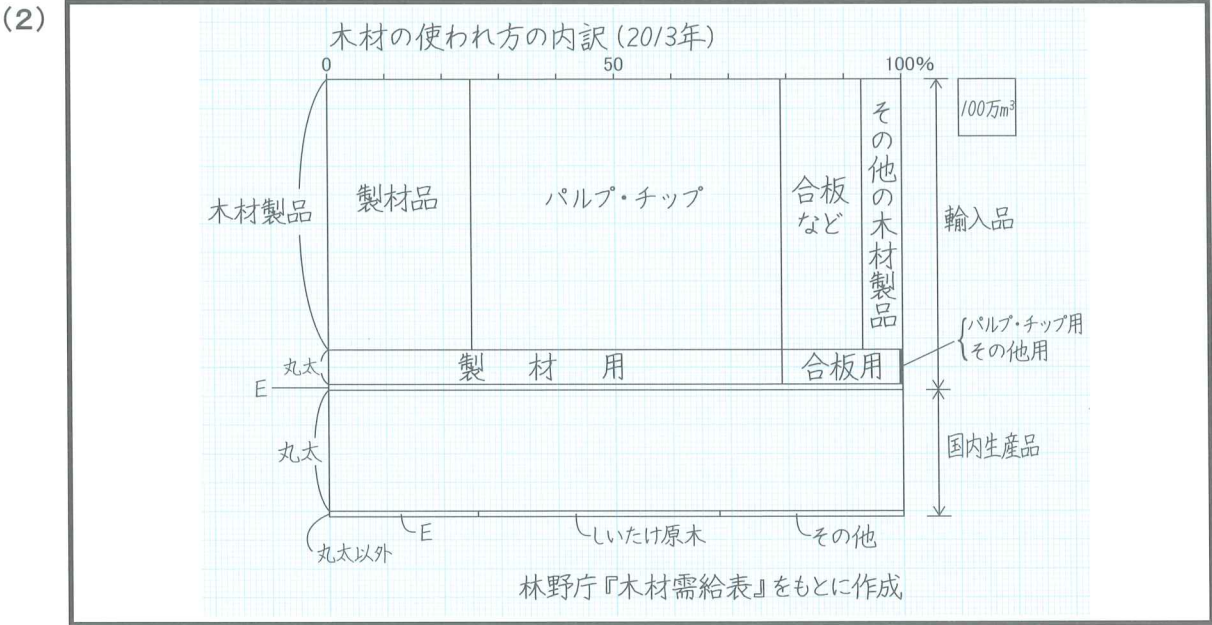
問2 問3

※

V.

VI. 問1 (1) (2) 問2 (1)

※



※

VII.

※

受験番号 氏名

※ 評点